

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC220	科目名	伴奏法	担当者名	三上 ゆかり
授業の概要	福祉施設等で音楽活動をする際、参加者が歌いやすい伴奏を弾けることを目指し、楽曲にふさわしいコードをつけながらキーボードで演奏できるようにする。				
科目の到達目標	正確な読譜ができるようになることと併せ、基本的なコードを理解しキーボードで弾く。基本的なコードで伴奏をつけながら、歌の旋律も弾く。				
DPの観点	②専門知識・技能 ③意欲・継続力 ⑦主体性				
授業時間外学修(予習・復習)	授業で取り上げた歌のコード進行を確認するとともに、旋律を弾きながら演奏できるよう30分程度の継続的な練習が必要である。				
フィードバックの方法	毎回の授業で各自の演奏状況を確認する他、3回の予定で演奏発表を行う。				
単位認定の要件	授業で取り上げたすべての歌の旋律と伴奏(コード)を弾けること。				
評価の方法・割合(%)	授業における課題への取り組み30% 3回行う演奏発表70%				
履修上の注意事項	音楽療法関連科目履修証明書希望者は履修すること。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			伴奏の必要性を理解。読譜及びハ長調の基本コードを学習。	②	各自の状況を確認・指導
2			C・F・Gコードの確認。「ふるさと」の読譜・コード・指使い提案。	② ③ ⑦	机間巡視で個々の確認・指導
3			「ふるさと」を通して弾く。「紅葉」の読譜・コード・指使い提案。	② ③ ⑦	机間巡視で個々の確認・指導
4			「紅葉」を通して弾く。「赤とんぼ」の読譜・コード・指使い提案。	② ③ ⑦	机間巡視で個々の確認・指導
5			「赤とんぼ」を通して弾く。イ短調の基本コード(Am・Dm・E)を学習。	② ③ ⑦	机間巡視で個々の確認・指導
6			学習した3曲を演奏発表。「四季の歌」の読譜・コード・指使い提案。	② ③ ⑦	個々の状況を確認。(小試験)
7			「四季の歌」を通して弾く。「荒城の月」の読譜・コード・指使い提案。	② ③ ⑦	机間巡視で個々の確認・指導
8			「荒城の月」を通して弾く。「月の沙漠」の読譜・コード・指使い提案。	② ③ ⑦	机間巡視で個々の確認・指導
9			「月の沙漠」を通して弾く。2回目の演奏発表の練習。	② ③ ⑦	机間巡視で個々の確認・指導
10			学習した3曲の演奏発表。「知床旅情」の読譜・コード・指使い提案。	② ③ ⑦	個々の状況を確認。(小試験)
11			「知床旅情」を弾く。「星影のワルツ」の読譜・コード・指使い提案。	② ③ ⑦	机間巡視で個々の確認・指導
12			「星影のワルツ」を弾く。「青い山脈」の読譜・コード・指使い提案。	② ③ ⑦	机間巡視で個々の確認・指導
13			「青い山脈」を弾く。3回目の演奏発表の練習	② ③ ⑦	机間巡視で個々の確認・指導
14			学習した3曲の演奏発表。授業で弾いてない歌のコードを確認。	② ③ ⑦	個々の状況を確認。(小試験)
15			ト長調(G・C・D)、ハ長調(F・B♭・C)のコードを学習。	② ③ ⑦	全員でコードを弾いて確認
期末試験					

使用テキスト	音の出会い 石川音楽療法研究会:音楽チーム 編著 (ドレミ楽譜出版社)
参考文献 参考URL	弾き語りキーボード・セッション① 音楽療法の必須100曲 高齢者編 菅田文子著(あおぞら音楽社)
備考	

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働能力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--